

**老人福祉センターと
福祉バスのご案内**

老人福祉センターは、市内に住む六十歳以上のお年寄りが健康の増進、はりのある生活を送るためのレクリエーションやしあわせの里づくりの場として活用されるほか、身

障者の療育相談及び訓練等広域地域福祉交流の場としても活用されています。

福祉バスは、教養活動や社会研修等幅広く運行されています。バスの運行計画の調整で日程表に変更が生じた時は、各会長さんに連絡いたしますのでご注意ください。

日 程 表

▽利用時間：10時～4時

月 日	曜日	地 区
4. 6	金	自由利用
4. 7	土	自由利用
4. 8	日	囲碁教室
4. 10	火	引野田・戸沢
4. 11	水	十日市場
4. 12	木	羽根子・鷹の巣
4. 13	金	早馬町
4. 14	土	工業展のため休み
4. 15	日	工業展のため休み
4. 16	月	工業展のため休み
4. 17	火	弁天町

月 日	曜日	地 区
4. 18	水	鶴声会役員会
4. 19	木	大正琴教室・詩吟教室
4. 20	金	与 繩
4. 21	土	自由利用
4. 22	日	一般身障者保養教室
4. 24	火	高尾町
4. 25	水	老人クラブ役員会
4. 26	木	舞踊教室・民謡教室
4. 27	金	上夏狩
4. 28	土	文化教室
5. 1	火	横 町
5. 2	水	井倉・九鬼・川茂
5. 4	金	四日市場・月見ヶ丘

たくましく、心豊かな人づくり

『やまなし教育実践の輪を広げる集い』開催される

三月六日(火)文化会館において「都留市やまなし教育実践の輪を広げる集い」を都留市教育委員会、青少年のための都留市民会議共催のもとに開催しました。

このつどいには、市内小中学生(十一校五十六名)、各学校長・教諭、自治会長、育成推進委員、社会教育関係団体等約二五〇名が参加し、「子どもが遊びをとおして学ぶための地域社会の役割」をテーマに、○小中学生の意見発表 ○小中学生と大人とのふれあいの部会 ○全体会 ○講演会による学び合いをしました。

青少年の健全育成をめざす中で、子どもたちと大人とが意見交換をし、子どもたちの育む地域の役割など活発に討議され、学校、家庭、地域社会の一層の連携が必要であることを再認識しました。

また、講演会では、東京大学教授柴田義松先生をお迎えして「自ら学ぶ子を育てる」と題してのお話しを聴講し、教育の重要性を強く心に抱きました。

つどいのおわりには、地域に根ざした特色ある教育の確立をめざして

- ◎郷土を愛する心を育てよう
- ◎学びの輪を広げよう
- ◎子どもを育む地域づくりに努めよう

のローガンを読み上げ、今後の教育の方途について研究討議するための指針となるべきつどいの幕を閉じました。



『新着図書のご案内』

- ◇一般図書◇
- 本田 靖春 移動する日本列島
 - 伊藤 笙 上手な野菜づくり
 - 青木 茂之 天翔る白日
 - 黒岩 重吾 愛情物語
 - 赤川 次郎 外一六七冊
- ◇児童図書◇
- 野村 たかあき ばあちゃんのえんがわ
 - ブルーナ まる・しかく・さんかく
 - さいとう わきこ ちいさいねずみ
 - 西村 繁男 なきむし
 - ワイルドスミス お月さまのさんぽ
 - 藤田 博保 つかい目玉の児童会長
 - 旺文社 武田信玄
 - 山田 ゴロ おもしろマイコン
- 外一〇四冊
- 計 一般図書 一七二冊
児童図書 一一二冊